

# 東北圏広域地方計画の概要

豊かな自然の中で交流・産業拠点として発展する  
ふるさと「東北にっぽん」



東北圏広域地方計画は、国土形成計画法第9条の規定に基づき、東北圏広域地方計画協議会における協議等を経て、平成21年8月4日に決定・公表いたしました。  
国土交通省

## CONTENTS

広域地方計画とは	02
東北圏を取り巻く状況と地域特性	04
東北圏が目指す姿	06
東北圏広域地方計画におけるプロジェクトの紹介	08
これからはじまる東北圏	14

## 【東北圏広域地方計画の構成】

第1章 計画策定の目的
第2章 東北圏を取り巻く状況と地域特性
第3章 これから10年で東北圏が目指す姿
第4章 戦略的目標と実現のための主要な施策
第5章 広域連携プロジェクト
第6章 計画の推進に向けて

# 広域地方計画とは

## 国土づくりの転換期

我が国の国土づくりは、昭和30年代以降、これまで開発を基調とした量的拡大を図る計画「全国総合開発計画（全総）」を中心に展開されてきました。

しかし今日、我が国は低成長・人口減少時代を迎えて、これからの社会にふさわしい国土の質的向上を図る国土計画へ転換が必要となりました。

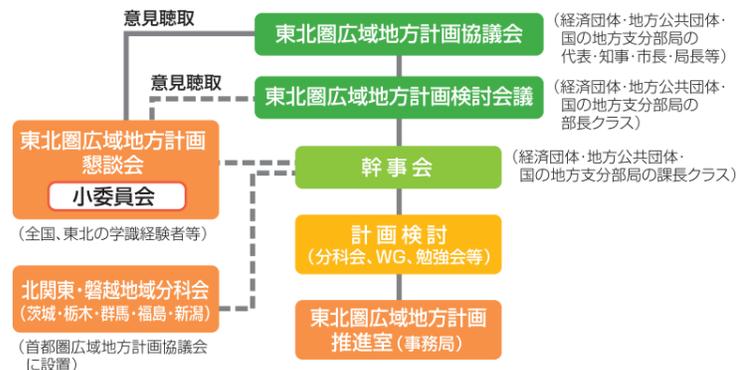
このため、平成17年に「国土総合開発法」を「国土形成計画法」に改め、私たち国民が安心して豊かな生活を営むことができるよう、新たな国土形成計画の策定に向けて動き出しました。

国土形成計画制度は、【全国計画】と【広域地方計画】の二層の計画から成り立っています。全国計画は、国の主導により明確な国土及び国民生活のあるべき姿を提示する「国土の将来ビジョン」として平成20年7月に閣議決定されました。



## 東北圏広域地方計画の策定

東北圏広域地方計画は、全国計画の基本方針に基づき、東北圏の地域特性を踏まえながら特色のある地域像を目指し、経済団体・地方公共団体・国の地方支分部局が協議を行い、地域戦略を策定した初めての計画です。



## 計画の概要

広域地方計画は、地方主導により、ブロック単位毎に、地方の将来像や実現に向けた主要な施策を示すものです。計画の期間は、21世紀前半期を展望しつつ、今後概ね10年間としています。

東北ブロックは、東北6県に新潟県を加えた7県を一つの圏域とし「東北圏」として計画を策定しました。東北圏は、人口1,210万人、GDP（国内総生産）43兆円と、オランダ、スイス、ベルギー等、ヨーロッパ中規模諸国と同等の人口・経済規模を有している圏域です。

「東北圏」とは、国土形成計画法施行令に基づき、青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・新潟県を一体とした圏域のことです。

- ※北関東・磐越地域分科会とは、茨城県・栃木県・群馬県・福島県・新潟県で構成される組織をいう
- ※圏土とは、東北圏における国土をいう
- ※圏域とは、東北圏の区域をいう
- ※圏民とは、東北圏内に居住する人をいう



## 各種計画との連携

本計画は、「東北ブロックの社会資本の重点整備方針」と車の両輪を成し、東北圏が目指す将来の姿の実現に向けてその他の計画とも連携を図りながら、取組を推進します。

	東北圏広域地方計画	東北ブロックの社会資本の重点整備方針
目的	国土の利用、整備及び保全を推進するための総合的かつ基本的な計画として定めるもの。	社会資本整備の具体的な方針を示すもの。
計画の対象	国土の利用、整備及び保全に関する府省にまたがる施策全般	道路、交通安全、鉄道、空港、港湾、航路標識、都市公園、下水道、河川、砂防、地すべり防止、急傾斜地の崩壊による災害の防止、海岸、各事業と一体となり効果を最大化させる事業
計画期間	21世紀前半期を展望しつつ、今後、概ね10年間	平成20～24年度の5年間
根拠法	国土形成計画法	社会資本整備重点計画法
対象地域	東北6県+新潟県【東北圏】	

# 東北圏を取り巻く状況と地域特性

「東北圏広域地方計画」は、全国計画に基づきながら東北圏の地域特性を踏まえ、特色ある地域戦略を描くものです。地域固有の特性を「東北圏の特徴や魅力」と、その「発展に向けた課題」として整理しています。

## 東北圏の特徴・魅力

### 広大な圏土と豊かな自然環境

- 日本全土の約2割を占める広大な圏土と、その約70%を占める森林等、豊かな自然環境に恵まれています。
- また、美しい農村風景等も数多く残っています。

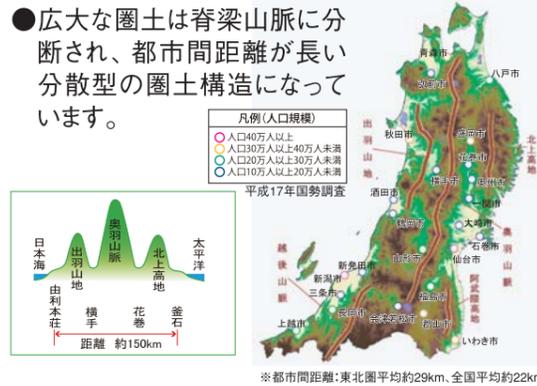


鳥海山

奥入瀬渓流

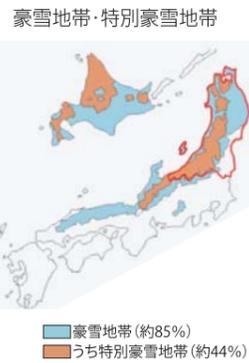
### 広範囲に都市が分散する圏土構造

- 広大な圏土は脊梁山脈に分断され、都市間距離が長い分散型の圏土構造になっています。



### 気象・災害等の自然の脅威

- 圏土面積の約85%が豪雪地帯に指定されているほか、近年地震や風水害による被害も目立っています。



岩手・宮城内陸地震(平成20年6月)

### 特徴ある祭り・伝統・文化・冬の魅力

- 独特の歴史や風土に培われた、特徴的な祭りや文化が数多く伝承されています。
- また、冬の魅力を活かした文化も発達しています。

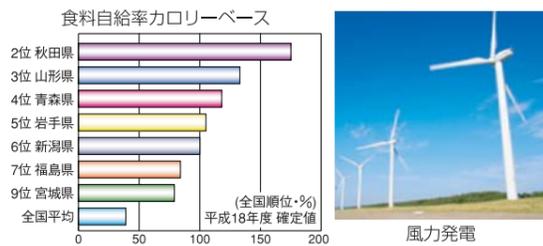


ねぶた

かまくら

### 農林水産資源とエネルギーのポテンシャル

- 全国上位水準の食料自給率を誇っています。
- また、原子力発電の供給や研究開発では重要な役割を担っているほか、自然を活用した新エネルギーへの取組も積極的に進められています。



### 優れた人材やものづくり技術

- 文人、芸術家等、多方面で優れた人材を輩出しています。
- また、独自のものづくり技術が発展し、世界に誇れる優れた企業が多数存在しています。



野口英世

南部鉄器

## 東北圏発展の課題

### ● 安心・安全・活力に関する課題 ●

#### 自然災害に対する安全・安心の確保

防災関連施設整備等のハード対策とともに、防災組織等減災のためのソフト対策の推進が課題です。



新潟・福島豪雨被害(平成16年7月)

#### 克雪・利雪・親雪の推進

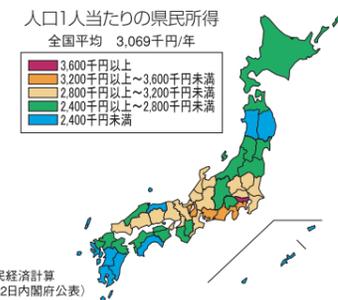
長い冬を、安全・快適に暮らすための生活環境の確立とともに、雪を活かした取組の積極的な推進が課題です。



冬期積雪による混雑の様子

#### 産業の活性化・競争力のある産業の振興

産業の集積や高度化、高付加価値化による競争力のある産業の振興と、若者を中心とした雇用の確保が課題です。



#### 国際交流・連携の強化

東アジアをはじめとする諸外国の活力を取り込むために、グローバル化の推進が課題です。



国際海上コンテナターミナル

国際線の発着する空港

### ● 自然・環境に関する課題 ●

#### 循環型社会の構築、豊かな自然との共生

地球規模での環境問題に対応し、持続可能な東北圏を構築するために、豊富な自然資源と共生する、循環型社会の構築が課題です。



白神山地

#### 美しい圏土や歴史文化の保全と活用

農山漁村風景や歴史・伝統・文化等、美しく豊かな東北圏を適切に保全・活用・継承することが課題です。



学習体験・田植えの様子

### ● 暮らしに関する課題 ●

#### 人口減少社会・高齢化への対応

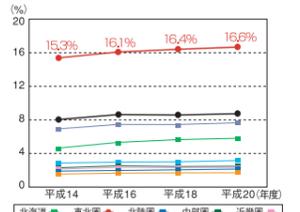
中心市街地の空洞化や、農山漁村地域での過疎化の進行、集落消滅危機等、さまざまな問題を見据えた手だてを考え、実行することが課題です。



中心市街のシャッター通り

#### 若者の定着、人材育成

少子化や人口減少による活力低下を防ぎ、若者が魅力を感じ、未来に希望を持てる地域づくりが課題です。



# 東北圏が目指す姿

「東北圏広域地方計画」は、東北圏の発展を目指して参画するすべての人々の、これからの活動の指針となるものです。「新しい将来像」を掲げ、この実現に向けた「戦略的目標」や「主要な施策」そして「広域連携プロジェクト」を示しています。

## 新しい将来像

### 豊かな自然の中で交流・産業拠点として発展するふるさと「東北にっぽん」



東北圏のポテンシャルを活かし、東北圏を支える人々が才能を発揮。国内外の人々との交流・連携を進め、新たな時代の潮流に対応・貢献できる多様で自立した東北圏を形成。  
美しい自然、多様な人々が光り輝く、森と海、人の息吹と躍動感に満ちた空間を創りあげていく。

## 3つの基本方針



## 5つの戦略的目標及び主要な施策・広域連携プロジェクト

### 戦略的目標と主要な施策

#### I 恵み豊かな自然と共生する環境先進圏域の実現

- 地球環境保全のための低炭素社会・循環型社会の構築
- 美しい四季に彩られる森林や田園、川や海辺の保全と継承
- 豊かな水環境と海域の環境保全・再生・利用

#### II 雪にも強く安全で安心して暮らせる温もりのある人に優しい圏域の実現

- 災害に備えたしなやかな圏域の形成
- 冬に強い地域づくりの推進
- 都市と農山漁村の共生と交流を推進する持続可能な生活圏域の形成
- 地域の持続的な発展の核となる活力ある都市の形成
- 暮らしやすい農山漁村の形成
- 人に優しい圏域づくり

#### III 地域の資源、特性を活かした世界に羽ばたく産業による自立的な圏域の実現

- 国際競争力を持つ産業群の形成
- 地球に優しいエネルギーの安定供給と世界を先導するエネルギー技術開発の推進
- 東北圏の総合力が支える持続可能な農林水産業の創出
- 東北圏ならではの地域資源を活かした観光交流の拡大

#### IV 交流・連携機能の強化による世界に開かれた圏域の実現

- 「環太平洋・環日本海ゲートウェイ」の形成
- 高速交通交流圏の形成
- 圏域内外を結ぶ多様で重層的なネットワーク

#### V 東北圏民が一体となって地域を考え行動する圏域の実現

- 「東北にっぽん」を創造する地域づくり協働体の構築
- 「東北にっぽん」の創造を支える人材の育成と活用

### 広域連携プロジェクト

新しい将来像の実現のため、今後10年間で重点的に進める取組を広域連携プロジェクトとして示しています。

- 1 東北圏のポテンシャルを活かした低炭素・循環型社会づくりプロジェクト
- 2 歴史・伝統文化、自然環境の保全・継承プロジェクト
- 3 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等大規模地震災害対策プロジェクト
- 4 地球温暖化に伴い高まる自然災害リスクへの適応策プロジェクト
- 5 豪雪地域の暮らし向上プロジェクト
- 6 都市と農山漁村の連携・共生による持続可能な地域構造形成プロジェクト
- 7 地域医療支援プロジェクト
- 8 次世代自動車関連産業集積拠点形成プロジェクト
- 9 農業・水産業の収益力向上プロジェクト
- 10 「日本のふるさと・原風景」を体験できる滞在型観光圏の創出プロジェクト
- 11 グローバル・ゲートウェイ機能強化プロジェクト
- 12 環日本海広域交流圏の形成プロジェクト
- 13 地域づくりコンソーシアム創出による地域支援プロジェクト

# 東北圏広域地方計画におけるプロジェクトの紹介

広域連携プロジェクトの具体的な取組内容や、代表的な事業について紹介します。  
これらの広域連携プロジェクトはあらゆる事業主体の連携により進めていくものです。

1

## 自然と共生する社会や環境産業における先進圏域を実現します。

### 東北圏のポテンシャルを活かした低炭素・循環型社会づくりプロジェクト

#### 低炭素社会構築のための新エネルギー等の導入

- 北東北と北海道等の大学連携による風力等の新エネルギー技術開発の研究拠点の形成
- 蓄電池併設型風力発電や新型小型風力発電、林地残材等を活用した木質系バイオマス発電の導入・普及の推進

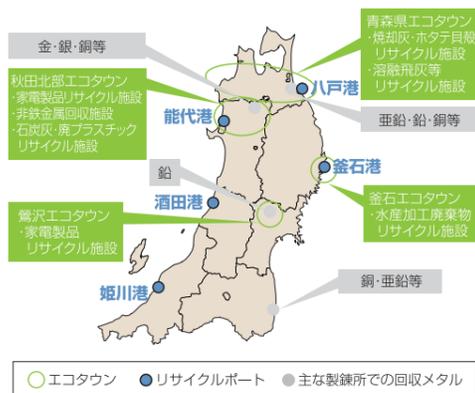
#### 低炭素社会構築のための美しい森林づくり

- 低コスト作業路と高性能林業機械を軸とした効率的な作業システムの普及・推進、建設業との連携の推進
- 地域材を活用した家づくりへの支援等の推進
- 森林整備に係るボランティア活動等の情報共有、人材育成や活動活性化の推進

#### 循環型社会づくりの推進

- 民間企業、市民等の連携による将来のレアメタル回収に備えた使用済小型電気・電子機器の広域的回収システムの構築
- 静脈物流ネットワークの構築へ向けたリサイクルポートでの多目的国際ターミナル等の整備

◆東北圏の主なリサイクル拠点



2

## 東北が持つ宝を、将来にわたって大切に守り育てます。

### 歴史・伝統文化、自然環境の保全・継承プロジェクト

#### 歴史・伝統文化の保存・継承

- 世界遺産登録に向けた取組、歴史まちづくり法や景観法等の活用による歴史的な景観等の保存推進
- 豊かな自然、歴史、風土の中で形成された東北固有の文化等の映像記録による保存・整理
- 都市公園等における市民、NPO等による自然共生の文化と知恵の体験・学習プログラムの実践

#### 自然環境の保全・再生

- 学識者、NPO等から成る「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」等による白神山地の保護管理や、「緑の回廊」における自然再生の実施
- 尾瀬国立公園等における植生荒廃地の復元対策や環境教育、エコツーリズム等の推進

◆東北圏の主な自然資源



3

## 地震・津波災害に対して安全・安心な圏域の形成を図ります。

### 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等大規模地震災害対策プロジェクト

#### 津波防災対策、避難体制の整備

- 津波防波堤の整備等、沿岸地域における津波被害の防止・軽減のための対策の強化

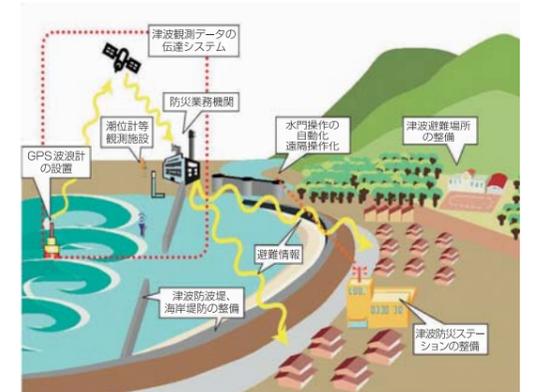
#### 孤立集落等への対応

- 孤立する可能性がある集落の把握及び物資供給・救助活動のためのヘリコプター離着場所の確保や衛星携帯電話の配備の推進

#### 広域的な連携による震災対策の推進

- 大規模地震の発生時においても代替性（リダンダンシー）や緊急輸送の信頼性を確保するための道路の整備

◆津波防災対策・避難体制の整備（イメージ）



4

## 自然災害に強い圏域の形成を図ります。

### 地球温暖化に伴い高まる自然災害リスクへの適応策プロジェクト

#### 高まる風水害等のリスクに対する適応策

- 風水害に対する施設整備の推進
- 地域づくりと一体となった対策の推進
- 二線堤の整備、まるごとまちごとハザードマップ等、危機管理対応を中心とした対策の推進

#### 渇水リスクの回避に向けた適応策

- 安定的な水資源の確保及び、多目的ダムの弾力的運用等による、渇水リスク軽減策の推進

◆危機管理対応を中心とした対策



# 東北圏広域地方計画におけるプロジェクトの紹介

5

雪と共存する地域の形成を図ります。

## 豪雪地域の暮らし向上プロジェクト

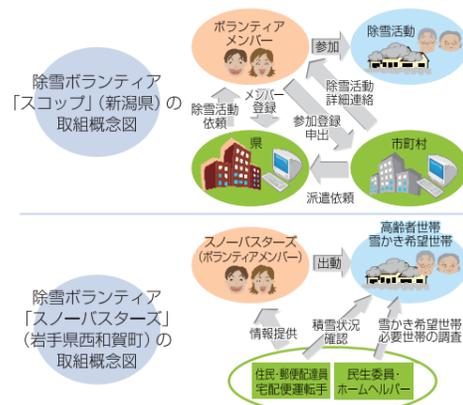
### 安全で安心・快適な暮らしの確保

- 克雪住宅の普及促進や冬期通行不能区間の解消のための道路改良等の推進
- 雪処理の担い手が不足している地域への除雪ボランティア活動への支援
- 河川や下水道の除排雪機能の整備や消流雪用水の確保の推進

### 貴重な地域資源としての雪の活用

- 花き培養育苗生産施設等への雪氷熱エネルギー導入や、雪室貯蔵の米等雪を付加価値とした商品開発の推進

#### ◆雪下ろし・雪片付け等の負担軽減策 (除雪ボランティアの確保)



6

コンパクトな都市づくりを推進し、人・もの・情報・経済等が循環する社会を構築します。

## 都市と農山漁村の連携・共生による持続可能な地域構造形成プロジェクト

### 都市の連携による地域づくりの推進

- 隣接する地方公共団体間の調整による運動公園や図書館等の共同利用の推進

### 都市と農山漁村の連携と共生した関係の再構築

- 都市と農山漁村における適正な土地利用の促進と、農山漁村の持つ地域資源を活用することによる都市と農山漁村との体験・交流の活性化促進

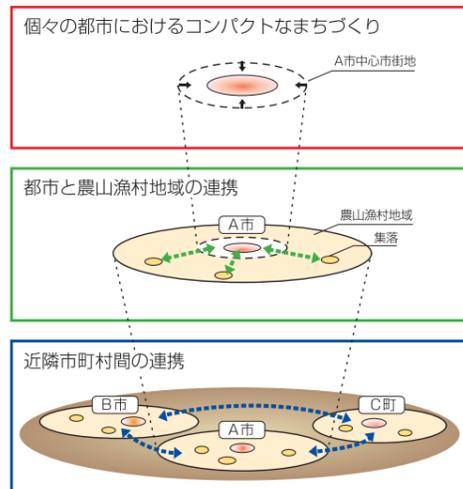
### 地域間を結ぶインフラ整備と公共交通の確保

- 地域間及び地域内の交通ネットワークの構築に向けた交通インフラ整備と、地域住民の移動利便性向上のための公共交通の確保

### 都市機能の集約・高度化による効率的でコンパクトな都市づくり

- 既存建築物の再生等による都市機能の集積及び既存ストックの有効活用によるコンパクトなまちづくりの推進

#### ◆持続可能で利便性の高い地域構造



7

医療体制の整備による持続可能な地域社会の実現を図ります。

## 地域医療支援プロジェクト

### 医師確保対策の推進

- 医師派遣の推進
- 医学部入学定員の増員や地域枠設定の拡充
- 医学教育研修等の推進

### 救急搬送体制等の構築

- ドクターヘリの導入等、高度な救急医療の確保の推進
- 救急医療情報システムの共有化や搬送ルールの確立
- 救急搬送を支援するための道路や救急車退出路の整備
- 情報通信技術による遠隔医療体制の構築

### がん医療の均てん化の推進

- がんの治療法や情報の共有によるがん医療水準の向上とがん専門医師等の育成

#### ◆第三次救急医療機関へ60分以内で到達できる圏域

※第三次救急医療機関:重症及び複数の診療科領域にわたる全ての重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる機関



8

東北圏における自立的経済圏の構築を図ります。

## 次世代自動車関連産業集積拠点形成プロジェクト

### 産学官連携による次世代自動車関連産業の拠点形成

- 「TOHOKUものづくりコリドー」における、産学官連携による次世代の自動車技術のニーズを先取りした高度部材・高機能機器、高機能電池等の研究開発の推進

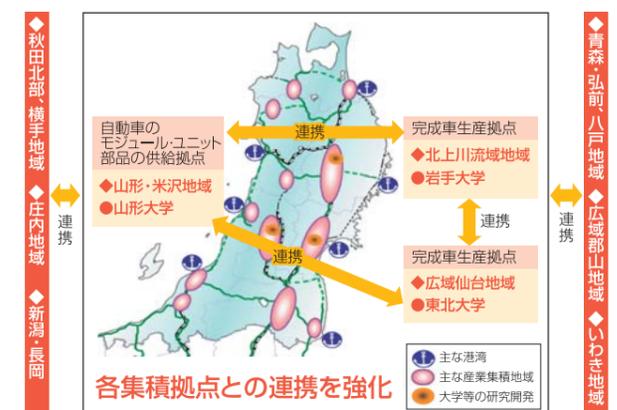
### 高度技術・研究開発と人材の育成

- 「みやぎカーインテリジェント人材育成センター」等、産学官連携による設計開発を担う人材の育成

### 物流機能の強化

- 自動車や関連部品の輸送の円滑化を図る複合一貫輸送ターミナル等の整備
- 生産拠点と港湾を体系的に結ぶ道路の整備

#### ◆自動車分野の地域間連携



# 東北圏広域地方計画におけるプロジェクトの紹介

9

力強い持続可能な農業・水産業を構築します。

## 農業・水産業の収益力向上プロジェクト

### 地域の農家や食品産業との連携による農産物の高付加価値化

- 地域の農家、食品製造業者等の連携による高品質な農産物や付加価値の高い新たな加工食品の開発

### 新たな可能性追求による米の消費拡大

- にいがた発「R10プロジェクト」等の米粉を原料とする製品の開発等、我が国の食料自給率の向上にも資する、米粉の需要増を通じた米の消費拡大

### 地球温暖化に備えた農業技術開発

- 気候変化等の将来の環境に適応する、高温耐性イネの育成等、農業技術開発

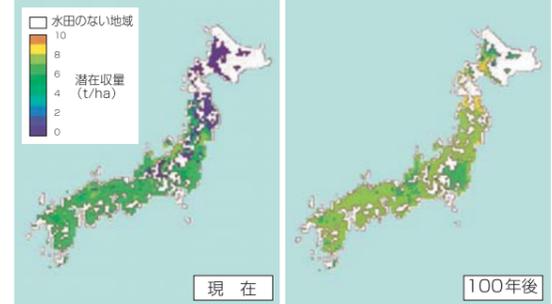
### 生産基盤・流通基盤の整備

- 農産物の安定供給に資する農業用排水施設等の整備
- 農産物生産地や主要な漁港を結ぶ道路の整備

### ◆地球温暖化と東北の優位性

～コシヒカリ収量増の期待～

温暖化にあわせて移植(田植え)日を決定した場合の潜在収量は増加が期待できる



資料:「地球温暖化予測情報に基づく水稻の潜在収量分布の変化(農業環境技術研究所)」をもとに作成

11

効率的な国際物流体系を構築します。

## グローバル・ゲートウェイ機能強化プロジェクト

### 東北圏の港湾利用の促進

- 他圏域港湾と比較した輸送コストや輸送日数等のメリット、港湾利用転換成功事例の活用等による東北圏港湾利用の促進

### 国際交流・物流体系の構築

- 物流拠点の機能強化に向けた国際海上コンテナターミナルや多目的国際ターミナル等の整備
- 主要な都市や生産拠点と港湾を体系的に結ぶ道路の整備

### ◆東北圏内の効率的な国際物流体系の構築



10

豊富な観光資源を活用し、観光交流の拡大による地域・経済の活性化を図ります。

## 「日本のふるさと・原風景」を体験できる滞在型観光圏の創出プロジェクト

### 「日本のふるさと・原風景」を体験できる滞在型観光圏の形成

- 湯治・地元名物料理体験・かまくら体験等の体験型観光メニューを組み合わせた「会津・米沢地域観光圏」「雪国観光圏」等の観光圏形成

### 観光客が旅行しやすい環境づくり

- 空港の利用促進等、他圏域からのアクセス強化、圏内の移動を円滑化する道路等の整備や高速バスの利便性向上
- 外国人観光客に対応した観光案内所の整備やおもてなしの心を持ったサービス提供の推進

### ◆観光振興に係る広域連携と高速交通基盤



12

成長著しい東アジアとの互惠関係を構築します。

## 環日本海広域交流圏の形成プロジェクト

### 東アジアとの連携強化に向けた環日本海地域の広域交流の推進

- 中国・韓国・ロシア等環日本海地域の大学と新潟大学等との連携による、学生の交換、教員の研究交流等知的ネットワークの構築

### ◆環日本海地域の広域連携による東アジアとの互惠関係の構築



13

全国に先駆けた新しい地域づくり支援システムを創出し住民主体の地域づくりを支援します。

## 地域づくりコンソーシアム創出による地域支援プロジェクト

### 地域づくりコンソーシアムの構築

- 大学等の学術研究機関、NPO、経済団体及び行政等の連携により、地域づくりコンソーシアムの構築に向けた課題整理と体制整備及び運営のあり方に関する検討の推進

### コンソーシアムを用いた地域づくり支援システムの構築

- コミュニティ支援のための政策・戦略研究、人材育成支援及び事例検証に基づく地域づくり支援システムの構築
- 学術研究機関所属研究スタッフの高度な専門知識を活用した、地域づくり全般についての総合的なアドバイスや支援の実施
- NPOの人材やネットワークを活用した、取組課題に応じた人材支援や専門技術・ノウハウ等の支援の実施

# これからはじまる東北圏

東北圏広域地方計画の推進から、東北圏の新しい将来像が生まれます。

## 計画のすすめ方



### ■計画の効果的な推進

#### 1. 計画の推進

計画の実効性を確保するために、協議会構成機関等関係機関が十分に連携・協働を図り各種施策の展開・具体化を推進します。

#### 2. 重点的・効率的な施策の実施

投資効果の早期発現とコスト縮減、選択と集中により各種施策を着実に実施していきます。

#### 3. 計画のフォローアップ

各プロジェクトの推進状況から計画の実施状況を定期的に評価し、適宜見直しを行いながら計画を推進します。

### ■他圏域及び他計画との連携

#### 1. 他圏域等との連携

計画の実現に向けて、北海道や首都圏、中部圏、北陸圏等、他圏域等との交流・連携も推進します。

#### 2. 他計画との連携

計画の効果的な推進のために、社会資本整備重点計画及び地方公共団体の総合計画等との連携を図ります。

## 資料はホームページでもご覧いただけます。



計画本文及びパンフレットは、ホームページでもご覧いただけます。

ホームページはこちら  
<http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/>



# 参考資料

## 策定体制



東北圏広域地方計画は、経済団体・地方公共団体・国の地方支分部局による「東北圏広域地方計画協議会」における協議及び有識者による「東北圏広域地方計画懇談会」における意見を踏まえて策定いたしました。

### 東北圏広域地方計画協議会 組織

地方公共団体	道県	北海道※ 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 新潟県 富山県※
	政令指定都市	仙台市 新潟市
	市町※	青森市 長岡市 宮城県丸森町 新潟県聖籠町
経済界※		(社) 東北経済連合会 東北六県商工会議所連合会 (社) 新潟県商工会議所連合会
国の地方行政機関		東北管区警察局 関東管区警察局 東北総合通信局 信越総合通信局 東北財務局 関東財務局 東北厚生局 関東信越厚生局 東北農政局 北陸農政局 東北森林管理局 関東森林管理局 東北経済産業局 関東経済産業局 東北地方整備局 関東地方整備局 北陸地方整備局 東北運輸局 北陸信越運輸局 第二管区海上保安本部 第九管区海上保安本部 東京航空局※ 東北地方環境事務所 関東地方環境事務所 中部地方環境事務所

※国土形成計画法第10条第2項により参画する機関

### 東北圏広域地方計画懇談会 委員

有田 博之	新潟大学 自然科学系 教授
家田 仁	東京大学大学院 工学系研究科 教授
生田 長人	東北大学大学院 法学研究科 教授
伊藤 敬幹	(株)日本政策投資銀行 東北支店長
稲村 肇	政策研究大学院大学 客員教授
今村 文彦	東北大学 教授 大学院工学研究科 附属災害制御研究センター
大泉 一貫	宮城大学事業構想学 研究科 研究科長
大滝 精一	東北大学大学院 経済学研究科 教授
尾形 恵子	(有)ティップス 取締役社長
北原 啓司	弘前大学 教育学部 教授
幸丸 政明	岩手県立大学 総合政策学部 長
○柴田 洋雄	美しい山形・最上川フォーラム 会長
清水 慎一	(株)ジェイティービー 常務取締役
鈴木 浩	福島大学理工学群 共生システム理工学類 教授
中出 文平	長岡技術科学大学 環境・建設系 教授
服部 昭	八戸大学 ビジネス学部 教授
浜岡 秀勝	秋田大学 土木環境工学科 准教授
宮原 育子	宮城大学 事業構想学部 教授
元田 良孝	岩手県立大学 総合政策学部 教授
◎森杉 壽芳	東北大学 名誉教授
山田 晴義	宮城大学地域連携センター 地域振興事業部 アドバイザー
吉田 悦子	(株)ファーストインターナショナル 取締役ゼネラルマネージャー
若菜 千穂	特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター 常務理事
渡邊 明	福島大学理工学群 共生システム理工学類 教授
(アドバイザー) 伊藤 恒敏	東北大学大学院 医学系研究科 教授

五十音順・敬称略(所属及び役職名等は計画決定時のもの) ◎:座長 ○:副座長

国土交通省 東北地方整備局  
東北圏広域地方計画推進室



【問合せ先】

国土交通省 東北地方整備局

○企画部 企画課

○建政部 計画・建設産業課

〒980-8602 宮城県仙台市青葉区二日町9番15号

TEL 022-225-2171 (代表)

国土交通省 東北運輸局

○企画観光部 交通企画課

〒983-8537 宮城県仙台市宮城野区鉄砲町1

TEL 022-791-7507

Eメール kou-suishin2@thr.mlit.go.jp